**「小児救急電話相談（＃８０００）」に関するアンケート**

◆調査の目的

　府では、平成１６年９月より、小児救急電話相談ダイヤル（＃８０００）を設置し、休日・夜間の急な子どものけがや病気に対する家族の判断を支援。専門知識を有する看護師が対応することで、保護者に安心感を与えるとともに、家庭の看護力の向上を目指している。本アンケートでは年々増加しているダイヤル利用者の属性や利用の背景、相談電話の浸透状況等を把握し、今後の支援の在り方の検討資料とする。

◆サンプル割付け

　　中学生以下の（同居する）子どもが1人以上いる親（保護者）1,000サンプル（18歳以上）

◆予備質問

SC1　性別（SA）

SC2　年齢（N）

SC3　住所（都道府県）(SA)

SC4　中学生以下のお子さんがいらっしゃいますか（親に代わり保護者として世話をしているお子さんがいらっしゃる場合も含む）。(MA)

1. ０歳～3歳
2. 4歳～未就学児
3. 小学生
4. 中学生
5. いない

SC5　あなたは、その0歳～中学生以下のお子さんと同居していますか。（SA）

* 1. 同居している
  2. 同居していない

◆本質問

1. あなたと0歳～中学生以下のお子さん（以下「お子さん」）との続柄を教えてください(SA)
   1. 父
   2. 母
   3. 祖父
   4. 祖母
   5. 叔父
   6. 叔母
   7. その他（　）
2. あなたは、お子さんの祖父母と同居もしくは近くに住んでいますか。(SA)
   1. 同居している
   2. 近くに住んでいる
   3. 遠方に住んでいる
   4. 祖父母はいない
3. あなたは配偶者がいますか（生活をと共にするパートナーを含む）。(SA)
4. いる
5. いない
6. あなたは、普段、育児やお子さんの病気等について、主に誰に相談しますか。最も相談する相手を1つ選んでください。(SA)
7. 夫または妻（生活を共にするパートナーを含む）
8. 子どもの祖母
9. 子どもの祖父
10. 自分の兄弟姉妹
11. 上記以外の親戚
12. 友人・知人
13. かかりつけ医
14. その他（　　）
15. ほとんど相談することはない
16. あなたの配偶者（生活を共にするパートナーを含む）は、夜間（8時以降目安）家にいることが多いですか。(SA)【Q3配偶者いると回答した人】
17. ほとんど家にいる
18. どちらかというと家にいることの方が多い
19. どちらかというと家にいないことの方が多い
20. ほとんど家にいない

【小児救急電話相談ダイヤル「＃8000」】

夜間の子どもの急病時、病院へ行ったほうがよいかどうか、判断に迷った時に大阪府では、小児科医の支援体制のもとに看護師が相談に応じます。詳しくはホームページをご覧ください。

時間 　　２０時から翌朝８時（３６５日）

電話番号 ＃８０００（NTTプッシュ回線、携帯電話）又は

０６－６７６５－３６５０（ダイヤル回線、IP電話）

URL：<http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/syouni-qq/syouni_qq_tel.html>

1. あなたはこの小児救急電話相談ダイヤル「＃8000」（以下「＃8000」）のことを知っていましたか。(SA)
2. 知っていた
3. 知らなかった（Q15へ）
4. 「＃8000」は何で知りましたか(MA)
5. 大阪府の広報紙「府政だより」
6. 大阪府のホームページ
7. 大阪府メールマガジン
8. 国のホームページ
9. 市区町村のホームページ
10. ポスターやチラシ
11. 母子健康手帳
12. 乳幼児健診
13. テレビ番組
14. ラジオ番組
15. ひよこクラブ
16. 子どものかかりつけ医の案内
17. かかりつけ医ではないが医療機関からの案内
18. 保健所
19. 友人・知人からの紹介
20. その他（　　）
21. わからない
22. これまでに「＃8000」を利用して、夜間のお子さんの病気等について相談したことはありますか。(SA)
23. ある
24. ない
25. これまでに「＃8000」に電話をかけてつながらなかったことはありますか。(SA)
26. ある
27. ない
28. 電話をかけたことがない
29. あなたが「＃8000」に電話をかけた時、その番号を何で確認しましたか。複数回利用したことがある方は主な確認方法についてお答えください。（SA）【Q8相談したことがある人】
    1. 携帯電話のメモリ
    2. 電話帳
    3. 手帳やメモ
    4. 下記からダウンロードしたカード

<http://kodomo-qq.jp/download/pdf/QQcard_oneside1.pdf>

* 1. 大阪府が発効しているカード
  2. 母子手帳
  3. インターネット検索
  4. その他（　　　）
  5. わからない・覚えていない

1. あなたがこれまでに行った電話相談の対応はおおむねどうでしたか。（表組）【Q8相談したことがある人】

　　（とても満足・やや満足・やや不満・非常に不満・どちらともいえない）

1. 相談全体をとおしての満足度
2. 電話をしてからつながるまでの時間
3. 対応時間
4. 応対者の話し方
5. 専門的なアドバイス
6. 不安感の減少（解消）
7. あなたが、直近に行った相談に対して受けたアドバイスは、主にどういう内容でしたか。直近の相談内容が思い出せない場合は、過去の覚えている内容でお答えください。（SA)【Q8相談したことがある人】
8. 翌朝受診するよう勧められた
9. 自宅で様子を見て、何かあれば再度相談または受診するよう勧められた
10. すぐに夜間受診するよう勧められた
11. 救急車を呼ぶよう勧められた
12. その他（　　）
13. わからない・覚えていない
14. 前問で回答いただいたアドバイスを受けたあと、実際にどのような行動をとられましたか。(SA)【Q8相談したことがある人】
15. 自宅で様子を見たが、元気になったので、受診はしなかった
16. 自宅で様子を見て、翌朝受診した
17. 自家用車等で、夜間救急を受診した
18. 救急車を呼んで受診した
19. その他
20. わからない・覚えていない
21. あなたが「＃8000」を利用したことがない（しない）理由をお聞かせください。(MA)【Q6知っていた人かつQ8相談したことがない人】
22. 電話相談だけでは不安は解消されないから
23. かけてもすぐにつながらないと思うから
24. その場になると＃8000のことを思いつかないから
25. 病気時は、夜間であっても診察を受けると決めているから
26. 専門家（看護師）が対応してくれるとは知らなかったから
27. 時間外に対応してくれる病院の紹介しかしてくれないと思っていたから
28. 相談するようなことがないから
29. その他（　　）
30. 特に理由はない
31. これまで、お子さんの夜間の急病やけがの際、どういった行動をとっていましたか。(MA)【Q6知らなかった人またはQ8相談したことがない人】
32. 夜間救急を受診
33. かかりつけ医を受診
34. こどもの祖父母に相談
35. 配偶者（生活を共にするパートナーを含む）に相談（配偶者いない制御）
36. 親戚や知人友人に相談
37. インターネットで病気についての情報を収集
38. インターネットで夜間診療機関についての情報を収集
39. [＃７１１９](http://www.city.osaka.lg.jp/shobo/page/0000052526.html)等、他の相談・案内ダイヤルの利用
40. 特に何もしない
41. その他(　　)
42. もし「＃8000」を知っていたら、相談したと思いますか。(SA)【Q6知らなかった人】
43. はい
44. いいえ
45. わからない
46. 今後は（も）「＃8000」を利用したいと思いますか。(SA)【全員】
47. 利用したい
48. 利用してもみてもいいかと思う
49. あまり利用したいと思わない
50. 利用したくない
51. どちらともいえない